

第十七
〇一

露國沿海別海岸ニ接近シ漁獵差聞有無等
拓植務省北部局長ニ問合件

九

外務省

明治三十年一月二十五日 記録課長

明治三十年一月十一日 起草
同日一月十五日 發遣 松井

廿二 往復部受 松井

田部局長

主任

次官

廳第六 出納

拓殖省北郡局長曾根祥夫殿 爲田部局長爲并了
露不泊海沿岸の接近に漁獵禁止の旨北海道廳
長官より伺出さる付昨年十二月廿九日付北二才四五二
号のハテ照会を起了取照不泊海沿岸の漁獵
爲沿岸に於ける漁業を突したる露艦千八百九十四年
十二月二日付をテ發布するに千八百九十九年の海軍
官憲法ニキ泊海沿岸の漁業假規則及薩哈連島
海漁業假規則上於る法規有之右規則に依り外に
人ト魚モ自國領事証明ヲ得テ右沿岸に於て一泊、
午後ヲ於ストキハ露不泊海内に於て漁業に従事
スルノ許可得んハキ至ニシテ別ニ海沿岸ヨリ三海
里ヲ距ルハ限海内ハ於ける漁獵上ハ制限ヲ付シタル

外務省

規定無之、又去ルハ九十三年中、英王ト露
 王トノ間ニ締結セラレタル條約ニ依ルハ九十三年
 十二月三十日迄ノ時期、英王政府ハベーリング海
 及北太平洋露王ノ沿岸十海里以内及コミンガー
 并ロビン群島ノ周圍三十海里以内ニ於テ其居民ノ
 勝手行動ヲ禁スヘシトノ約定有之タリ
 英王政府ハ外交文書ヲ以テ英王ハ三海里以外ノ露
 王ノ法權ヲ降ムト爲モ是令ノ臨時ノ處分ニシテ
 公法上先例ト爲スヘカランコトヲ公言シタリ、又去ルハ九
 十二年二月二十九日締結ノ英米條約ニ基キ、九
 十三年八月十五日巴里仲裁^{議定}利込^ルヲ決定シタル
 協定章程ニ依ルハ合衆國及英王政府ハ其人民又ハ
 居民ニ對シテフリビロフ島ノ沿海ニテ領海ヲモ算
 シ六十哩^(緯度一度ニ付六十哩ナル地理里程ヲ云フ)
 距離以内ニ於テ普通毛皮獵虎^(フア・シール)ト称スル
 獸類ヲ何カナル時ニ於テモ何カナル方法ヲ以テスルモ

外務省

屠殺捕殺系ル配処スルコトヲ禁止スヘシトノ約定
 有之ルヲ露國政府ヲ於テハ大英米條約ニ未タ加
 盟無之、其ハ露國政府ヲ於テハホワイト海及カスピ
 ヤシ海并、コミランドルスキー及ニビンス兩島ノ聯
 邦獵業ニ禁制ヲ設ケ之ヲ三哩以外ノ海上ニ實
 行セラントモ外人ニ對シテハ三哩以内、其規定ヲ
 限ラレタ處アルニ國際法上一定ノ領海内ニ侵入シ
 カル限り且ツ漁獵ニ實シ彼我兩王國ノ所共セラレ
 タル條約無之由ハ人民ハ公海ヲ於テ自由ニ漁獵ニ從
 事シ得ヘキ矣ト云フ批復書ヲ呈上セリ也

外務省